

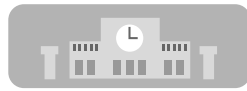
















プログラム名	竹やぶ大冒険！						
対象年齢	年長（5～6歳） 小学1年生						
ねらい	メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・竹やぶであそぶ楽しさに気づこう ・竹が身近な生活と結びついていることに気づこう 					
	発見・体感できること	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の音、におい、しなやかさ ・竹やぶの雰囲気 ・地面（湿地）を踏みしめる感触 ・生物との出会い ・竹に触れてあそんだ時の楽しさ、気持ち良さ 					
参加者のめやす	幼児 30人 / 支援者 3人						
実施時間	30分						
フィールド (実施場所)							
	森・社寺林・公園	山・里	川	湖・池	田畑・野原	園庭・公園	
実施可能時期							
自然を感じるためのヒント							
時間	活動			●配慮・アドバイス◎アレンジ			
5分	①竹やぶについての話を聞く			<ul style="list-style-type: none"> ●刺さるものは取り除いておきましょう。 ●竹やぶってどんなところか、何がいるのか、どんな音が聞こえるのかなど、子どもたちのイメージを膨らませ、楽しんで活動に入っていけるようにしましょう。 			
10分	②落ち葉であそぶ ・座る・寝転ぶ ・土に触れる  <p>上はまぶしいね。</p> <p>ホワットしてるから気持ちがいいよ。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ●実際に触ってみることで、一つひとつの違いに気づき、竹やぶの中の湿地に触れることで、いろいろな土や生きものがいることを発見しましょう。 ●落ち葉の上に寝転んだときの匂い、音、視界などを共に感じましょう。 ●ムカデなど多足類の虫に気をつけましょう。 ◎虫をルーペで見てください。  <p>かぐや姫がいるんじゃないかな。</p> <p>竹の下にひげがある！</p> <p>葉っぱの下にダンゴ虫がいる！</p>			

時 間	活 動	●配慮・アドバイス◎アレンジ
5分	③枝で竹をたたく ・たたく竹を変える ・竹に耳をあて聞く ・竹をたたきながら歌を歌う ♪「山の音楽家」など	●音を聞いた時、子どもたちが発見したことに共感しましょう。  ●自然が作ったもので楽しくあそべることに気づきましょう。 ●今後もまた来たいと思えるような言葉かけをしましょう。 
10分	④倒れている竹であそぶ ・登る ・渡る ・くぐる ・ぶらさがる 	●身近な生活での竹の利用について話し合います。 (例) ・竹製のもの(楽器、竹馬、竹細工など) ・竹の生長やタケノコ ・竹をロープとして使ったことなど ◎竹の生態について話します。 (例) 竹の花はいつ咲くのか。根っこはどうなっているのか。春にはタケノコができることなど。
【異年齢への対応】 ◆0～1歳児： 落ち葉の上を歩いたり、座ったりしてみましょう。また、落ち葉に触りましょう。 ◆2歳児： 竹を触ったり、落ち葉の上に寝転んだりしましょう。 ◆年少：竹をたたいたり、落ち葉の上に寝転んだりしましょう。 ◆年中：竹やぶに棲む虫を見つけてみましょう。		
【園や家庭に帰ってから】 ◆竹でおもちゃを作り、感触を味わってみましょう。 (例) 竹トンボ、竹ポックリ(パカポコ)、竹馬、青だけふみ、竹琴など ◆湿地に棲む虫をルーペで見たり、図鑑で調べたりしましょう。 ◆タケノコを掘り、焼いたり、煮たりして食べてみましょう。		
準備物・教材等		